

若い教師のための



あすなる塾

第3回 平成30年7月28日(土)



「今日的な教育課題」への対応を学ぶ

夏休みに入り、7月最後の土曜日に、第3回「若い教師のためのあすなる塾」が開催されました。今回は、今日的な教育課題である、「特別支援の実際」と「プログラミング教育」に関する内容でした。悪天候にもかかわらず参加した15名の研修生は、真剣な表情で講話や演習に参加していました。

講話：「ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた支援の工夫」

講師：総合教育センター特別支援教育部 松本 巖 研究指導主事



前半は、特別支援教育の現状や、各学校種における特別な教育的ニーズについて講話を受けました。後半は、ユニバーサルデザインの考え方について、ヒント集を元に具体的な支援方法について学びました。

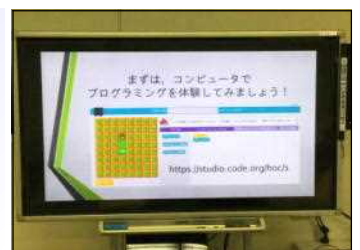


演習：「プログラミング教育の実現に向けて」

**講師：総合教育センターカリキュラム開発部 秋保 佳弘 研究指導主事
福島慎太郎 研究指導主事**



プログラミング教育導入の背景を学んだ後、「プログラミングはこわくないぞ!」と題して、「古典的な迷路」や「スクラッチ」などを体験しながら、プログラミング指導への手掛かりを探りました。



プログラミングは難しいものかと思っていましたが、ゲーム感覚でできて子供も楽しく学べそうだと思った。



普段意識をしていなければ、身の周りにある視覚的な支援で多くの手立てがあることに気付かなかった。共生社会の理解のために、勉強になった。



実際に体験できてわかりやすかったし楽しかった。子供たちにも同じ思いをもってもらえるよう指導していきたい。

参加したみなさんの感



学級の中には、様々な課題をもっている子供がいる。その子供の困っていることをうまく理解し、視覚的支援を多く用いていきたい。

